

キリスト教の成立

☆ユダヤ：セレウコス朝からハスモン朝が独立⇨ローマのポンペイウスに占領される。

⇨親ローマ派のヘロデ王の支配(前37-前4)⇨アウグストゥスがローマの属州に。

- ・サドカイ人^{びと}：親ローマ派のユダヤ教大祭司。ローマの保護下で特権を守る。
- ・¹ _____ 人^{びと}：反ローマ派の律法学者。律法の順守による救世主を待望。

後30頃 ガリラヤ地方の宗教家イエスが、律法を否定、“神の国”の到来を説く。

⇨律法学者の告発により、総督² _____ は反逆罪でイエスを処刑。

☆キリスト教：“イエスの復活”を信じ、イエスを救世主、神の子と説く宗教。

- ・³ _____ ：“十二使徒”の代表。エルサレムに最初の教団を組織。
- ・⁴ _____ ：“異邦人の使徒”。ギリシア出身。信仰義認説、十字架上の贖罪説^{しよくざい}。

64 ⁵ _____ 帝の迫害：ローマ大火の責任を転嫁。ペテロ・パウロが殉教。

⇨ドミティアヌス帝の迫害⇨『ヨハネ黙示録』。地下墓地^{もくしろく} (⁶ _____)で礼拝。

2c 『⁷ _____ 』成立。4福音書・使徒行伝^{ぎょうてん}・書簡・黙示録。⁸ _____ 語。

ローマ帝国の衰退

・⁹ _____ 帝^{ドミナトゥス}：284-専制君主政。皇帝崇拜を強制。キリスト教徒大迫害。

・¹⁰ _____ 帝：313 ¹¹ _____ 勅令でキリスト教を¹² _____、迫害停止。

325 ¹³ _____ 公会議：¹⁴ _____ 派を異端に。330 ¹⁵ _____ 遷都。

・ユリアヌス帝^{はいきょうしや}：“背教者”。ミトラ教に改宗、キリスト教弾圧。ペルシア遠征で戦死。

375- 民族大移動：ゲルマン人の西ゴート族が移動を開始。（⇨フン人の西進）

・¹⁶ _____ 帝：380 ｷﾘｽﾄ教¹⁷ _____ 化、392 異教を禁止。395 帝国を東西分割。

381 コンスタンティノープル公会議：¹⁸ _____ 派の三位一体説を正統に。

—395- 西ローマ帝国：ゲルマン人の侵入続く。

410 西ゴート王アラリックがローマ市を略奪。

レオ1世^{レオ}：教皇(440-)。ローマの首位権を主張。

451 カタラウヌムの戦い：フン人の侵攻を撃退。

476 ゲルマン人傭兵隊長オドアケルが皇帝を追放。

—395- 東ローマ帝国

431 ¹⁹ _____ 公会議

：²⁰ _____ 派追放。

451 ²¹ _____ 公会議

：単性論派(コプト派)を追放。

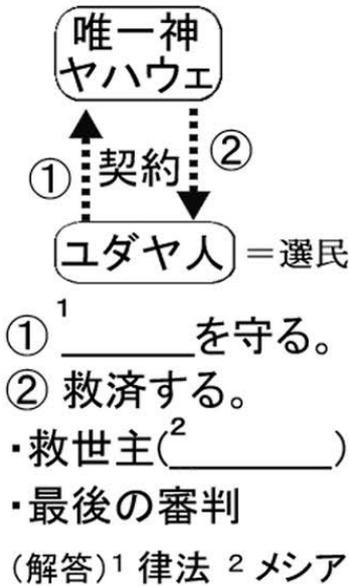
- (解答) 1パリサイ 2ポンティウス=ピラトゥス 3ペテロ
 4パウロ 5ネロ 6カタコンベ 7新約聖書 8ギリシア
 9ディオクレティアヌス 10コンスタンティヌス 11ミラノ
 12公認 13ニケーア 14アリウス 15コンスタンティノープル
 16テオドシウス 17国教 18アタナシウス 19エフェソス
 20ネストリウス 21カルケドン



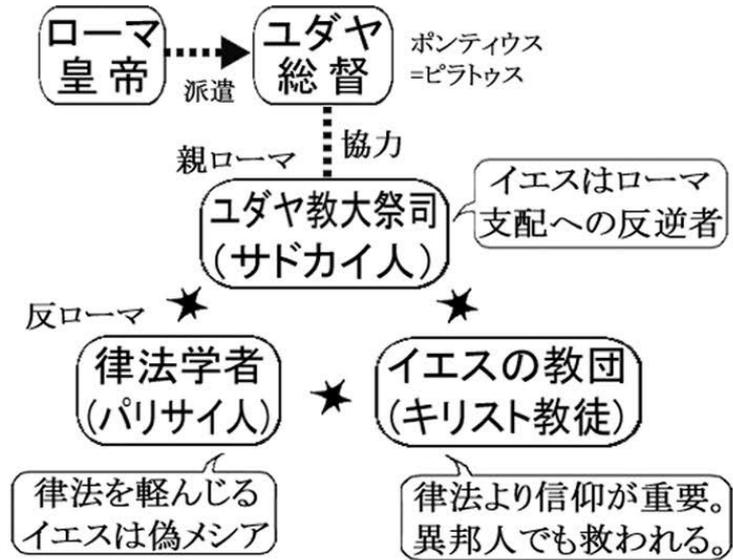
▲ コンスタンティヌスの奇跡
戦闘の際、キリストを暗示するギリシア文字のXPが天空に出現する。

キリスト教の成立

ユダヤ教の思想



ローマ支配下のユダヤ



ユダヤ教の律法(モーセの十戒)…『旧約聖書・出エジプト記』

私は主、あなたの神、あなたをエジプトの家、奴隷の家から導いた神である。

あなたは、私のほかに神があってはならない。あなたはいかなる像も造ってはならない。上は天にあり、下は地にあり、また地の下の水の中にある、いかなるものの形を作ってはならない。あなたはそれらに向かってひれ伏したり、仕えたりしてはならない。…あなたの神、主の名をみだりに唱えてはならない。…安息日を心に留め、これを聖別せよ。六日の間働いてあなたの仕事をし、七日目はあなたの神、主の安息日であるから、いかなる仕事もしてはならない。…あなたの父母を敬え。…殺してはならない。姦淫してはならない。盗んではならない。隣人に関して偽証してはならない。隣人の家を欲してはならない。…

『新約聖書』 the New Testament…2世紀に成立。1 _____ 語(コイネー)で記録。

(1) 4つの2 _____ Gospel

- ・イエスの生涯。マルコ、マタイ、ルカ、ヨハネの4人が記録。
- ・生誕、山上の垂訓、最後の晚餐、裁判、処刑、復活まで。



▲最後の晚餐

(2) 3 _____ Acts of the Apostles

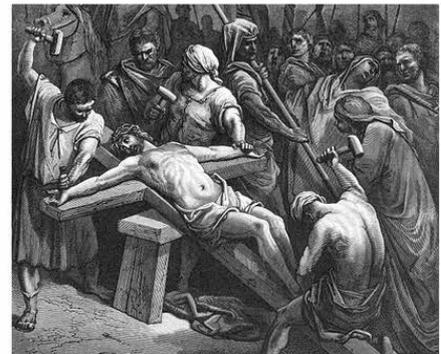
- ・十二使徒の代表4 _____、
- 「異邦人の使徒」5 _____ の伝道記録。

(3) 5 _____ の書簡 Pauline Epistles

- ・各地の教会へ宛てた手紙。キリスト教の教義を理論化。

(4) ヨハネ黙示録 ^{もくしろく} Revelation of John

- ・世界の終末、最後の審判、「神の国」の到来を描く。



▲イエスの磔刑(たっけい)

(解答) 1. ギリシア 2. 福音書 3. 使徒行伝 ^{しとぎょうでん} 4. ペテロ 5. パウロ

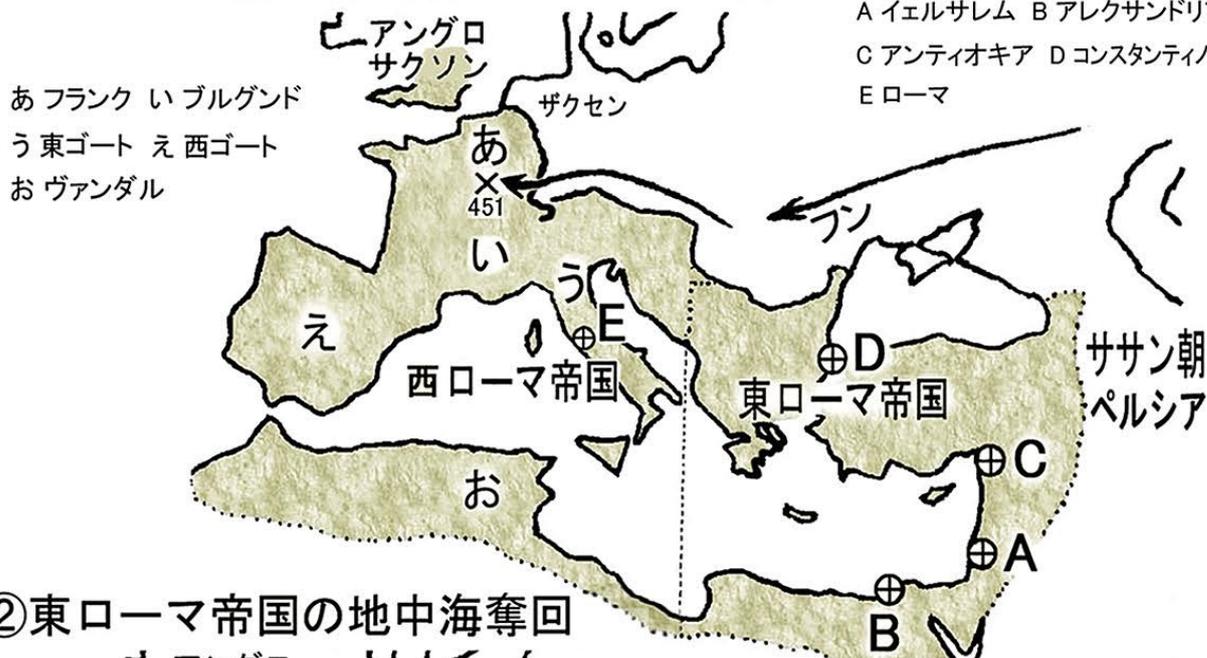
民族大移動①ゲルマン人の侵入

⊕キリスト教の五本山

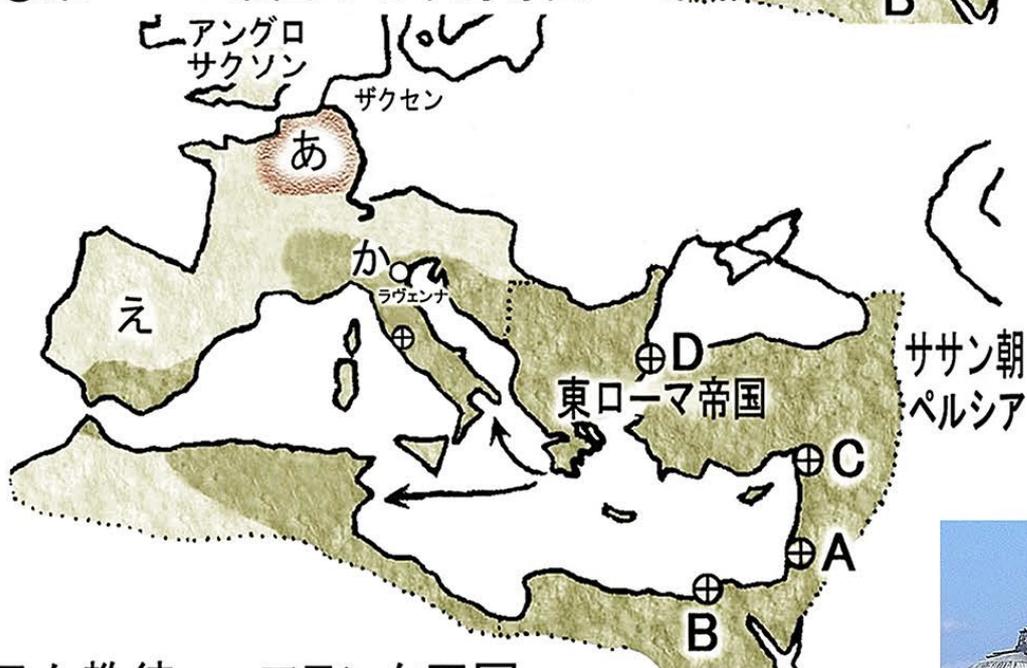
A イエルサレム B アレクサンドリア

C アンティオキア D コンスタンティノープル

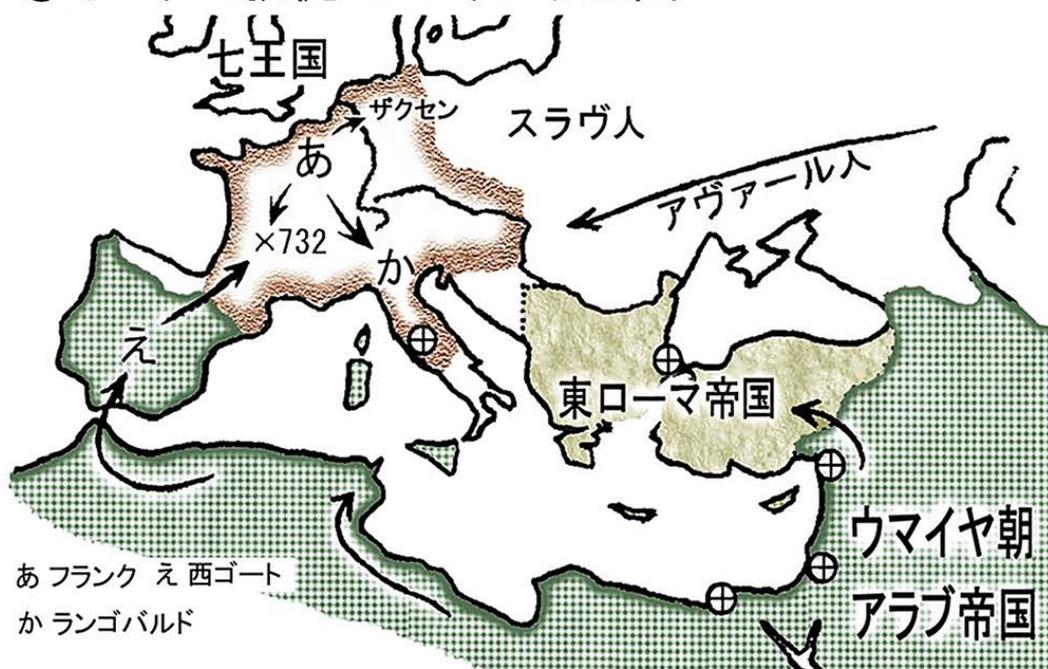
E ローマ



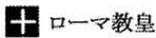
②東ローマ帝国の地中海奪回



③イスラム教徒 vs. フランク王国



▲ ハギア=ソフィア聖堂



民族大移動の時代

395- 西ローマ帝国：ゲルマン人傭兵が実権。

451 カタラウヌムの戦い：**レオ1世**：¹ _____ 権を主張。

：フン人のアッティラが侵攻 (² _____ 教会)

455 ヴァンダル人が侵攻。・³ _____ :ゲルマン人傭兵隊長。

☆フランク人

476 西ローマ皇帝を追放。

：ライン東岸からガリアへ。

493-¹⁹ _____ 王国

・**テオドリック**：オドアケルを倒す。

⇨アリウス派を強制、ローマ人と対立。

481-⁴ _____ 朝

・⁵ _____

：フランク人を統一。

496 アタナシウス派に改宗。

⇨教皇とローマ人の支持。

555- 東ローマ領

☆ラヴェンナに総督府。

サン=ヴィターレ聖堂。

534 ブルグンドを征服し、ガリア統一。

568- ランゴバルド王国

☆北イタリアに侵入、教皇を圧迫。

7c-イスラーム教徒の侵入。

・**グレゴリウス1世**：大教皇。

⇨アングロ=サクソン人に布教。

711 西ゴート王国滅亡。

395- 東ローマ帝国

(首都:コンスタンティノープル)

☆¹⁷ _____ 教会

：皇帝が政教両権を握り、首長(総主教)を任免。

・¹⁸ _____

：全盛期の皇帝(527-)

534 ヴァンダルを征服。

555 ¹⁹ _____ を征服、

☆²⁰ _____ 聖堂

☆『²¹ _____ 』

：法学者トリボニアヌスが編纂。

☆中国から絹織物業が伝来。

7c-イスラーム教徒の侵入。

・**ヘラクレイオス1世**

⇨シリア・エジプトを失う。

⇨²² _____ 制・屯田兵制。

☆ギリシア語の公用語化。

⇨ビザンツ帝国に変質。

・²³ _____ (717-)

：アラブ軍が首都を包囲。

726 ²⁴ _____ 令。

：聖像画(イコン)を禁止。

イスラム教徒に対抗。

9c ²⁵ _____ 兄弟が

スラヴ人に布教。

(⇨キリル文字の成立)

988 ²⁶ _____ 公国

(ロシア)が正教に改宗。

732 ⁶ _____ の戦い：イスラーム軍が侵攻

⇨フランク王国の宮宰⁷ _____ が撃退。

751- ⁸ _____ 朝フランク王国

・⁹ _____ :マルテルの子。教皇の支持で王に。

⇨ランゴバルド王国から¹⁰ _____ 地方を奪う。→★

⇨教皇に寄進(ローマ教皇領の起源)

・¹¹ _____ 大帝 協力 **レオ3世** 首位権

ランゴバルド王国、独の¹³ _____ 人を征服、西欧統一。

遊牧民¹⁴ _____ 人撃退。イベリア遠征(『ローランの歌』)

800 カールの戴冠：教皇が“西ローマ帝国復興”を宣言。

☆カロリングルネサンス：英出身の神学者¹⁵ _____ が指導。

学校の再建など、ラテン文化を復興

☆地方豪族を州知事(¹⁶ _____)に任命、巡察使が監督。

⇨カールの死後、豪族が封建領主化、帝国は解体へ。

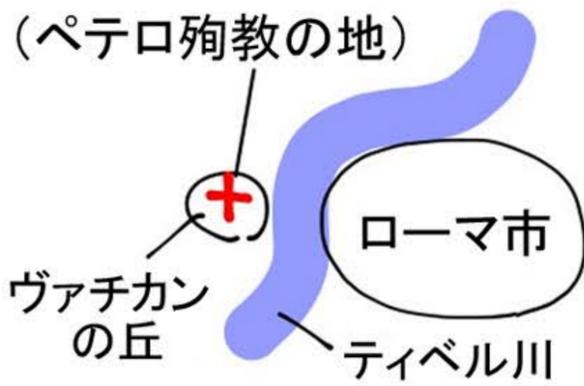
- (解答) 1首位 2ローマ=カトリック 3オドアケル 4メロヴィング 5クローヴィス 6トゥール・ポワティエ
 7カール=マルテル 8カロリング 9ピピン(3世) 10ラヴェンナ 11カール 12レオ3世 13ザクセン
 14アヴァール 15アルクイン 16伯 17ギリシア正 18ユスティニアヌス 19東ゴート 20ハギア=ソフィア
 21ローマ法大全 22テマ(軍管区) 23レオン3世 24聖像(崇拜)禁止 25キュリロス 26キエフ

民族大移動とキリスト教

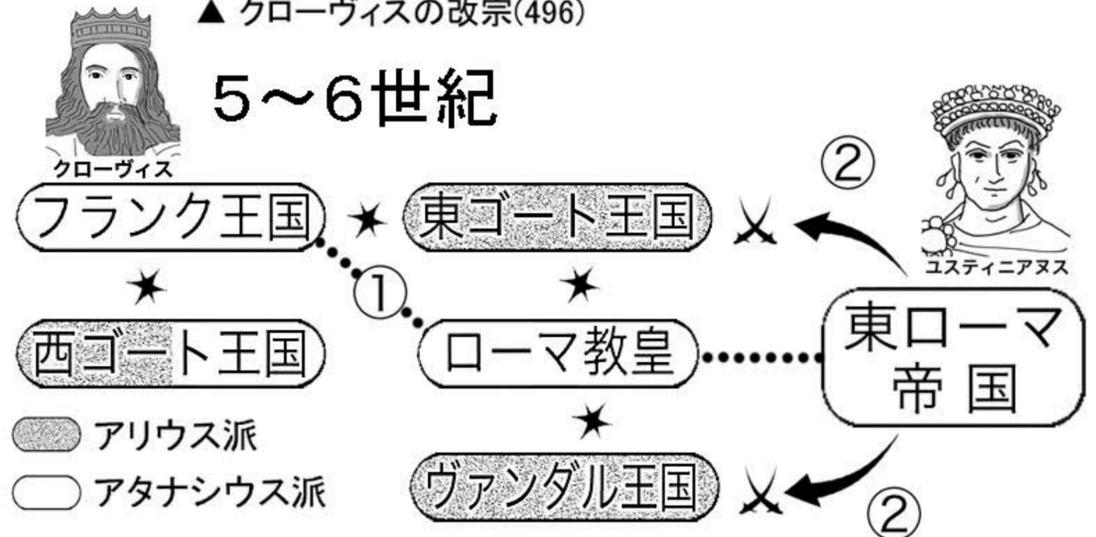


▲ クローヴィスの改宗(496)

聖ピエトロ大聖堂
(ペテロ殉教の地)



5~6世紀



● アリウス派
○ アタナシウス派

カトリック教会の成立

イエス イェルサレムで殉教

↓ 後継者

ペテロ ローマ(ヴァチカン)で殉教

↓ 後継者

教皇 ローマ教会の首位権を主張
レオ1世

① 1 _____ の改宗(496)
(多神教→アタナシウス派)

② 2 _____ 帝の遠征(6c)
(将軍ベルサリオスを派遣)

(解答) 1 クローヴィス 2 ユスティニアヌス

7~8世紀



③ 3 _____ 征服(7c)

④ アタナシウス派の分裂

○ 4 _____ 教会

○ 5 _____ 教会

⑤ 6 _____ 半島征服(711)

⑥ 7 _____ の戦い(732)

→宮宰⁸ _____ が勝利

→ピピンのクーデタ(⁹ _____ 朝成立)

⑦ ピピンのイタリア遠征

⑧ ¹⁰ _____ 地方を教皇に寄進

→¹¹ _____ の戴冠(800)

…教皇¹² _____ による。

問 アタナシウス派の東西分裂について、以下の語句を用いて、90字以内で説明せよ。

ギリシア正教会 首位権 レオン3世

問 イスラームの侵攻からカール戴冠までの経緯について、以下の語句を用いて90字以内で説明せよ。
カール=マルテル ラヴェンナ



▲ カールの戴冠(800)

(解答) 3 シリア・エジプト 4 ギリシア正 5 ローマ=カトリック 6 イベリア

7 トゥール・ポワティエ間 8 カール=マルテル 9 カロリング 10 ラヴェンナ 11 カール 12 レオ3世

フランク王国の解体

☆フランク王国：カール大帝の死後、解体へ向かう。

843 ¹ _____ 条約：大帝の孫3人が帝国を3分割。

長男ロタールが帝位を相続。

870 ² _____ 条約：ロタール領を弟2人が再分割。

(⇨ ³ _____ の起源)

9-10c ノルマン人の侵入、カロリング家の断絶。

⇨戦乱の中で、地方豪族が諸侯(公・伯)に成長。



フランス (⁴ _____ 朝)

- **パリ伯⁵**
- : ノルマン人を撃退。
- 987 仏王に選出される。
- ⇨国内には大諸侯が割拠。
- ⇨王権は弱体。

ドイツ (⁶ _____ 朝)

- **公ハインリヒ**
- 919 ドイツ王に選出される。
- **_____**
- 955 レヒフェルトの戦い
- ⇨ ⁸ _____ 人を撃退。
- 962 オットーの戴冠 (⁹ _____ 帝国の起源)

イタリア

- 諸侯の抗争が続き、アラブ人も侵入。
- **ヨハネス12世**
- : 独王に出兵要請。

ノルマン諸国

☆¹⁰ _____ 人：ヴァイキング。北方ゲルマン人。北海・バルト海で交易、略奪。
北歐にノルウェー・スウェーデン・¹¹ _____ を建国(8-10c)

①北フランス

911 ロロが¹² _____ 公国を建国。
⇨西フランク(フランス)王に臣従。
1059 ロベール=ギスカルがシチリア征服。
1066 ウィリアムがイングランド征服。

③イングランド

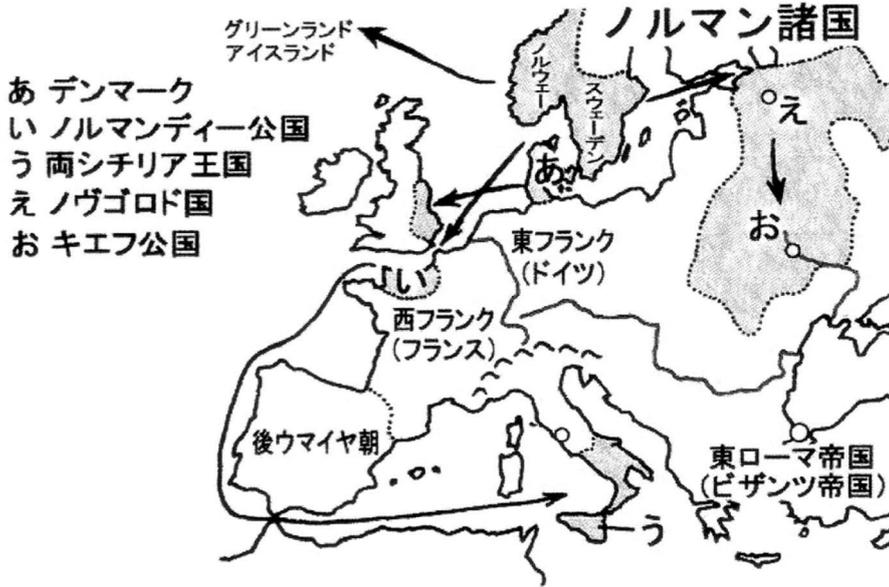
5c **ヘブターキ** アングロ=サクソン族の七王国が成立。
829 ¹⁶ _____ が七王国を統一。
⇨ ¹⁷ _____ 大王がデーン人撃退。
1016 デーン人の王¹⁸ _____ が侵攻。
⇨英・デンマーク・ノルウェーを含む“北海帝国”
⇨エドワード懺悔王がノルマンディーへ亡命。
1066 ノルマンディー公¹⁹ _____ が侵攻
⇨ ²⁰ _____ の戦い(ノルマン征服) the Norman Conquest
⇨ウィリアムがハロルドを破り、英王に。

②ロシア

862 ¹³ _____ がノヴゴロドに建国。
⇨先住スラヴ人を支配(ロシアの起源)
882 オレーグが¹⁴ _____ 公国を建国。
⇨ビザンツ帝国に臣従、交易。
988 大公¹⁵ _____ が正教に改宗。
⇨ビザンツ皇帝の妹と結婚。

④南イタリア(シチリア)

9c-イスラーム教徒(アッバース朝)の支配。
▶1059 ロベール=ギスカルが征服。
⇨教皇に臣従、シチリア公に。
1130 ルッジェーロ2世、シチリア王に。
(²¹ _____ 王国の起源)
⇨アラブ人官僚をそのまま採用。
(ビザンツ・イスラーム・カトリックの共存)



- | | |
|-----------|-------------|
| 1 ヴェルダン | 10 ノルマン |
| 2 メルセン | 11 デンマーク |
| 3 仏・独・伊 | 12 ノルマンディー |
| 4 カペー | 13 リューリク |
| 5 ユーグ=カペー | 14 キエフ |
| 6 ザクセン | 15 ウラディミル1世 |
| 7 オットー1世 | 16 エグバート |
| 8 マジャール | 17 アルフレッド |
| 9 神聖ローマ | 18 クヌート |
| | 19 ウィリアム |
| | 20 ヘースティングズ |
| | 21 両シチリア |

封建社会の成立

9~10世紀 フランク王国の解体、ノルマン人の侵攻の中で地方分権化がすすむ。

フューダリズム

①封建制度：貴族（諸侯・騎士）間の主従関係。1 _____ の授受による双務的關係。
 （ローマ末期の2 _____ 制とゲルマン人の3 _____ 制が結合）

②荘園：領主（貴族・教会・修道院）が所有する広大な私有地。

領主は、課税権・領主裁判権を持ち、王権の介入を拒否（4 _____ 権）

☆古典荘園：移動の自由がない農奴を強制労働（⇨ローマ時代の小作人=5 _____）

・領主の6 _____ 地：農奴の7 _____（強制労働）によって経営（労働地代）。

・農民の8 _____ 地：領主が収穫の一部を9 _____ させる（生産物地代）。

⇨他に、結婚税・死亡税・水車使用料、教会への十分の一税を徴収。

11~13世紀 十字軍の時代：商業の復活、貨幣の普及⇨生産物地代から貨幣地代へ。

①¹⁰ _____ 製農具・牛耕・重量有輪犁が普及⇨大開墾時代：森林伐採（⇨シトー派修道会）

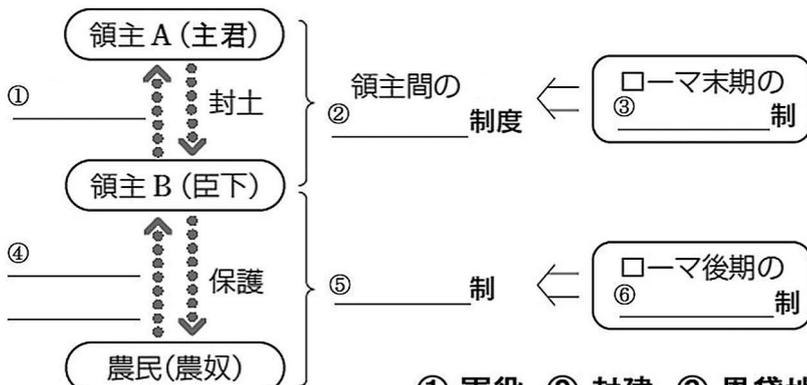
②¹¹ _____ 制：秋耕地（小麦）・春耕地（大麦）・休閒地に3分。収穫が倍増。

（・各耕地に農民が保有する地条が散在。垣根で仕切らない開放耕地。

・農作業の共同化。教会を中心とする村落共同体。日曜ミサ、マリア信仰の普及。

封建社会

- | | |
|------------|-----------|
| 1 ほうど 封土 | 7 ふえき 賦役 |
| 2 おんたい 恩貸地 | 8 保有 |
| 3 じゅうし 従士 | 9 こうのう 貢納 |
| 4 不輸不入 | 10 鉄 |
| 5 コロヌス | 11 さんぼ 三圃 |
| 6 直営 | |

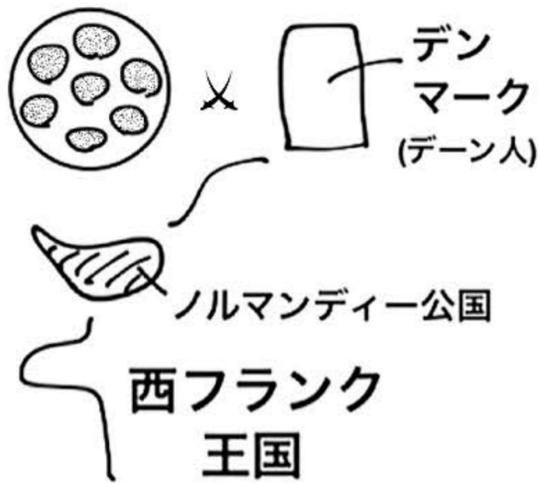


- ① 軍役 ② 封建 ③ 恩貸地
 ④ 賦役・貢納 ⑤ 農奴 ⑥ コロヌス

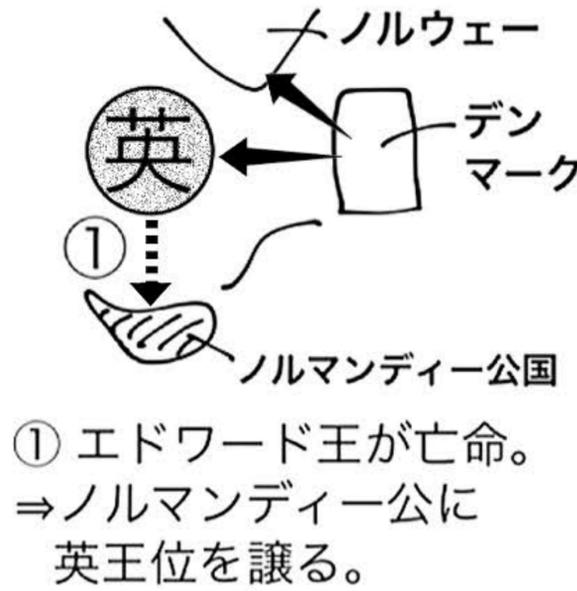
イギリスの成立

● アングロ=サクソン人 ○ ノルマン人

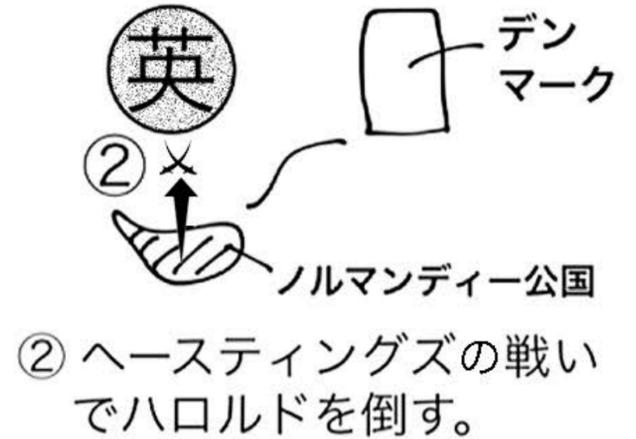
① エグバートが七王国を統一(829)



② クヌートのデーン朝 (1016- 北海帝国)



③ ウィリアムのノルマン朝 (1066- ノルマン征服)



封建社会の成立

ローマ末期の
1 制



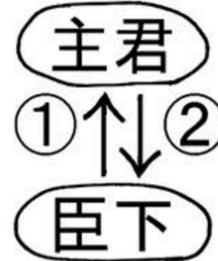
- ① 土地を²____、守ってもらう。
② 再びその土地を³____される。

ゲルマン人の
4 制



- ① 軍役
② 衣食

中世西欧の
5 制度



- ① 軍役
② ⁶_____

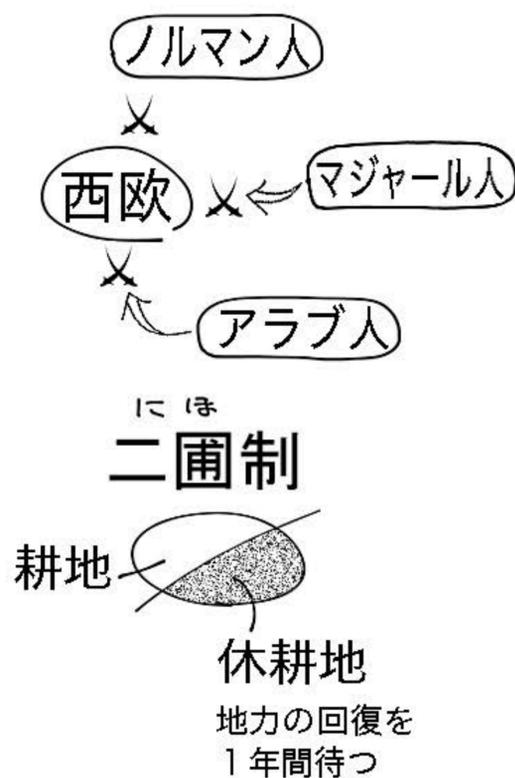
ビザンツ帝国の
7 (軍管区)制



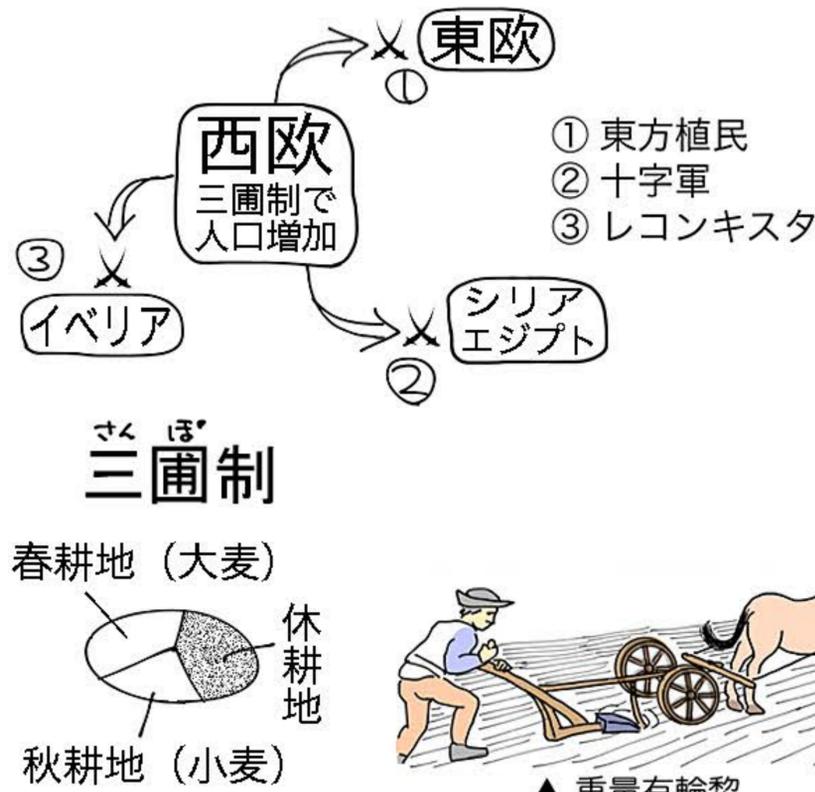
11世紀以降、軍人に徴税権を与える⁸_____制へ。

【解答】 1 恩貸地 2 寄進 3 貸与 4 従士
5 封建 6 封土 7 テマ 8 プロノイア

中世前半(10cまで)



中世後半(11c以降)



問 9~11世紀のイギリスの王朝交代について、以下の語句を用いて120字以内で説明せよ。
七王国
ヘースティングズ

問 ローマ帝国の解体により形成された西欧の諸制度について、以下の語句を用いて120字以内で説明せよ。
恩貸地 封土 賦役
コロヌス

▲ 重量有輪犁

教皇権の確立

☆¹ _____ : カトリック教会の首長。 “使徒² _____ の後継者” “神の代理人”

☆聖職階層制：教皇・枢機卿すうききょう・修道院長・大司教・³ _____ ・⁴ _____ の序列。

⇒ 聖職者は、国王・諸侯から土地を寄進され、荘園領主となる（教会の世俗化^{せぞく}）。

☆⁵ _____ 政策 神聖ローマ皇帝が聖職者を任命して行政を委ね、諸侯に対抗。

⇒ 聖職者の腐敗（聖職売買、聖職者の結婚など）が深刻化、教皇権との対立を招く。

☆教会改革運動 東仏の⁶ _____ 修道院を中心に、聖職者の規律を強化。

☆⁷ _____ 闘争：聖職者の任命権をめぐる皇帝と教皇との争い。

✚⁸ _____ : 改革派のローマ教皇。



1077 ⁹ _____ の屈辱：皇帝¹⁰ _____ を破門。

⇒ ドイツ諸侯らが皇帝に離反⇒皇帝は教皇に屈服、謝罪。 グレゴリウス7世

⇒ 次のハインリヒ5世も教皇と争い、破門される。

✚ カリクストゥス2世 : 皇帝ハインリヒ5世と妥協。

1122 ¹¹ _____ 協約：叙任権闘争は教皇優位で終結。

⇒ 皇帝は叙任権を放棄し、司教への封土授与権のみ確保。

⇒ それまで政教両権を握っていた皇帝は、教権を教皇に譲り渡す。

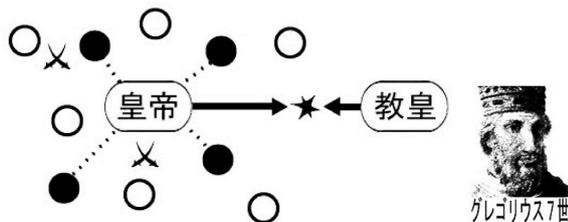
✚¹² _____ : 教皇権の絶頂。“教皇は太陽、皇帝は月”

⇒ 英王ジョン・仏王フィリップ2世・皇帝オットー4世を破門。



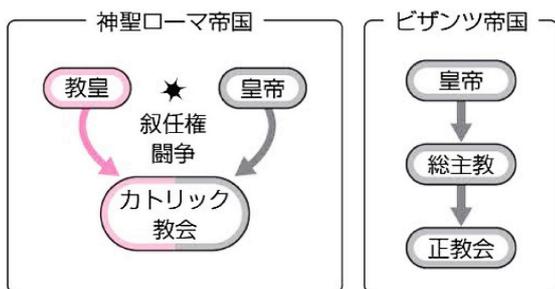
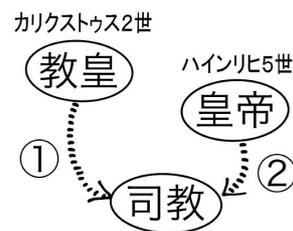
▲ カノッサの屈辱(1077)

帝国教会政策



皇帝は、●聖職者(司教)を任命(叙任)し、○諸侯(公・伯)に対抗して統一を進める。

ヴォルムス協約(1122)



東ローマ(ビザンツ)皇帝は、「キリストの代理人」と称して総主教以下の聖職者を任免し、政教両権をあわせ持っていた。カトリック側はこの両権体制を、「皇帝教皇主義」と呼んだ。

教皇権の衰退

- 1 教皇 2 ペテロ 3 司教 4 司祭 5 帝国教会 6 クリュニー 7 叙任権 8 グレゴリウス7世
- 9 カノッサ 10 ハインリヒ4世 11 ヴォルムス 12 インノケンティウス3世

十字軍の時代

☆聖地巡礼：イェルサレム、ローマ、スペインのサンチャゴ=デ=コンポステラが三大巡礼地に。

1054 東西教会が¹_____。1071 マンジケルトの戦い：²_____朝が侵攻。

✚³_____：教皇。ビザンツ皇帝アレクシオス1世からの救援要請。

1095 ⁴_____公会議：聖地⁵_____奪回を名目に、十字軍の派遣を提唱。

⇨カトリックによる東西教会の統一が真の目的。参加者には贖罪しよくざい(免罪)を与える。

1096- 第1回十字軍：仏諸侯が中心⇨聖地に⁵_____王国を建国(1099)。

☆宗教騎士団：聖地防衛と巡礼者保護。⁶_____・_____・_____の3つ。

1189- 第3回十字軍(帝王十字軍)

・皇帝フリードリヒ1世：事故死。

・仏王フィリップ2世：途中で帰国。

・英王⁸_____：エジプト遠征。

1169- クルド人武将⁷_____、

エジプト王に(アイユーブ朝)

1187 聖地を十字軍から奪回。

⇨十字軍、海港アッコンに撤退。

✚⁹_____：教皇権の絶頂。“教皇は太陽、皇帝は月”

1202- 第4回十字軍：仏諸侯が中心。¹⁰_____共和国が海上輸送を担当。

⇨東方貿易の利害から¹¹_____占領⇨¹²_____帝国を建国(1204)

1228- 第5回十字軍：皇帝¹³_____がエジプトと交渉、聖地に無血入城。

1248- 第6回十字軍：仏王¹⁴_____がエジプト侵攻に失敗、捕虜に。

1270- 第7回十字軍：仏王、チュニスで病死。

1250- マムルーク朝エジプト

1291 ¹⁵_____を陥落させる。

☆十字軍と平行する動き：西欧世界の拡大(⇨¹⁶_____制の普及による人口増加)

①イベリア半島の国土回復運動(レコンキスタ)。

②ドイツ人の¹⁷_____：¹⁸_____川以東のスラヴ人居住地へ入植。

⇨¹⁹_____辺境伯領・²⁰_____領が成立(プロイセンの起源)

13c モンゴル軍の侵攻：キエフ公国崩壊、ワールシュタットの戦い(1241)。

14c ポーランドの²¹_____大王は、ドイツ騎士団の侵入を防ぐ。

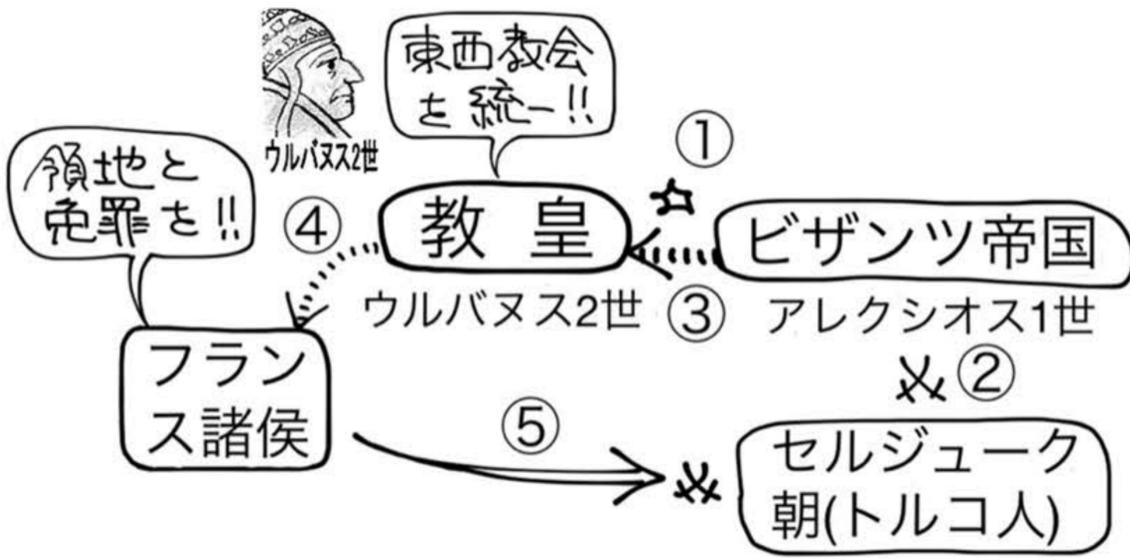
1386- ²²_____朝：²³_____大公とポーランド女王が結婚、同君連合。

騎士団を破り(1410 タンネンベルクの戦い)、黒海北岸(ウクライナ)まで勢力を拡大。

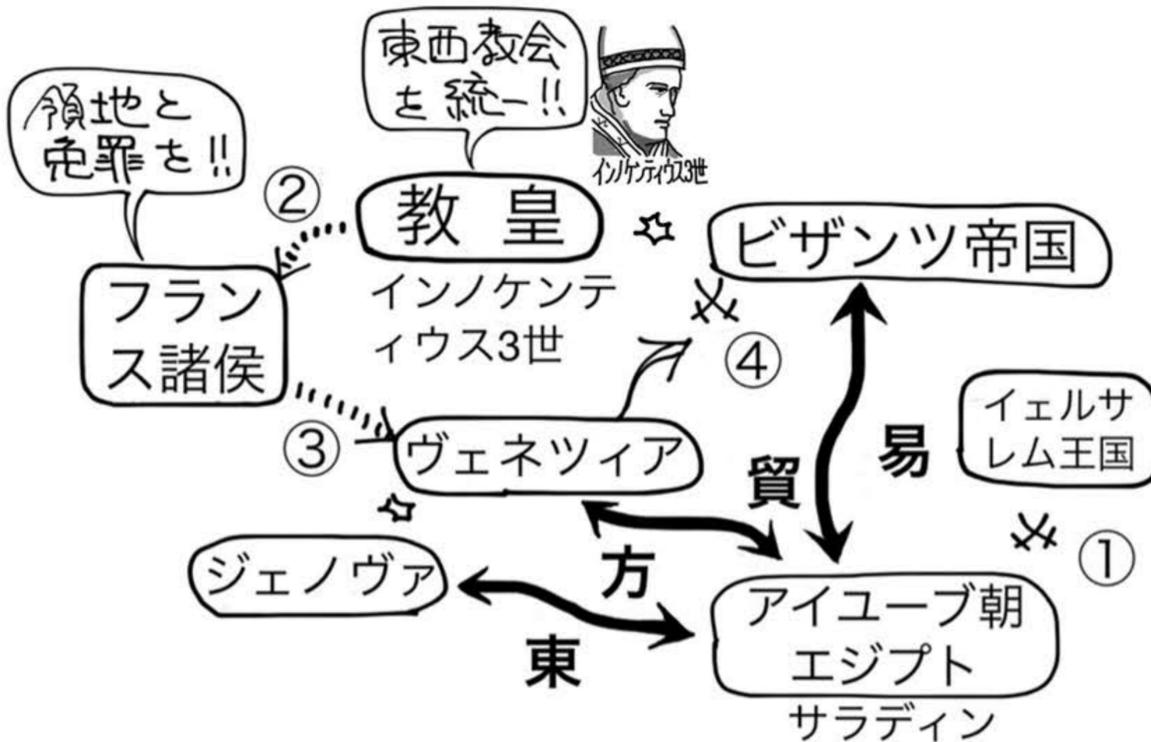
- (解答)1 相互破門 2 セルジューク 3 ウルバヌス2世 4 クレルモン 5 イェルサレム
 6 テンプル・ヨハネ・ドイツ 7 サラディン 8 リチャード1世 9 インノケンティウス3世
 10 ヴェネツィア 11 コンスタンティノーブル 12 ラテン 13 フリードリヒ2世 14 ルイ9世
 15 アッコン 16 三圃 17 東方植民 18 エルベ 19 ブランデンブルク 20 ドイツ騎士団
 21 カジミエシュ 22 ヤゲウオ 23 リトアニア

十字軍の時代

問6 十字軍派遣の背景と、第1回十字軍の展開について、以下の語句を用いて90字以内で説明せよ。
 イエルサレム王国 クレルモン 相互破門



- ① 東西教会の相互破門(1054)
- ② マンジケルトの戦い(1071)
⇒セルジューク朝が小アジア征服
- ③ 援軍要請
- ④ クレルモン宗教会議(1095)
- ⑤ 第1回十字軍(1096-)
⇒イエルサレム王国を建国



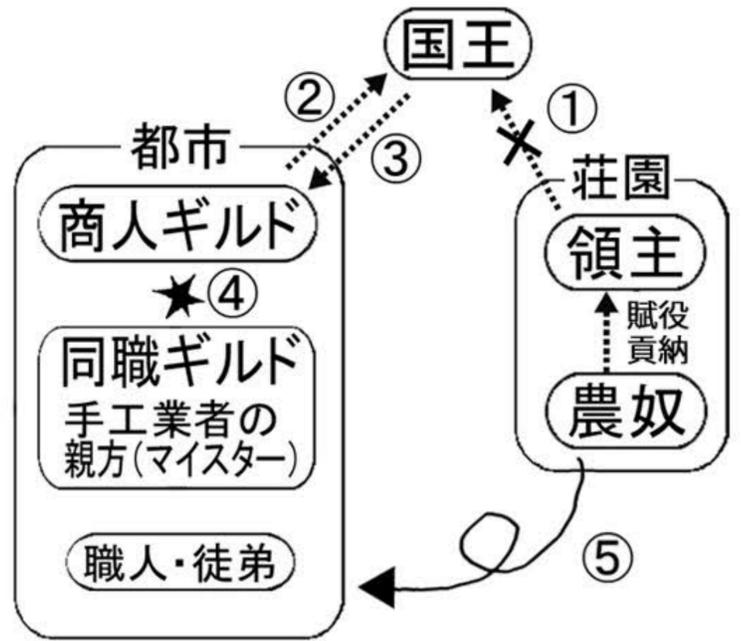
- ① イエルサレム奪回(1187)
- ② 提唱
- ③ 海上輸送を要請
- ④ 第4回十字軍(1202-)
⇒コンスタンティノープル占領
ラテン帝国を建国

問7 第4回十字軍について、以下の語句を用いて60字程度で説明せよ。
 インノケンティウス3世 東方貿易 ラテン帝国



中世都市の成立

問 中世ヨーロッパにおける都市の自由について以下の語句を用いて120字以内で説明。
 自治権 親方 農奴



- ① 免税(不輸不入権) ② 税
- ③ 1 _____ を認める特許状
- ④ 参政権を要求(2 _____ 闘争)
- ⑤ 都市へ逃亡、1年と1日後に自由身分に(3 _____ は自由にする)



▲ハンザ同盟の盟主・リューベック

- あ _____
- い _____
- う _____
- え _____
- お _____
- か _____
- き _____
- く _____ 地方
- け _____
- こ _____ 地方

中国の絹・インドの香辛料



▲東方貿易で栄えたヴェネツィア

問 東方貿易について、以下の語句を用いて90字以内で説明しなさい。
 ヴェネツィア エジプト 毛織物

(解答)

- あ ミラノ
- い ジェノヴァ
- う フィレンツェ
- え ヴェネツィア
- お アウクスブルク
- か リューベック
- き ハンブルク
- く フランドル
- け ブリュージュ
- こ シャンパーニュ

商業の復活と中世都市



▲ビザンツ金貨ノミスマ (レオン3世の肖像)

☆商業の復活：ローマ末期に衰えた貨幣経済が、11~12cに復活。

(要)①¹ _____ 制の普及よじょう ⇨ 余剰物資を交換 ⇨ 定期市、都市が発達。

②² _____ の遠征 ⇨ 遠隔地商業 (東方貿易・北海貿易)。

北海貿易：毛織物・木材・海産物 (ニシン)・穀物など日用品を取引。

• ³ _____ 地方：現ベルギー。毛織物工業。 ⁴ _____ ・ガン・アントワープ。

• ⁵ _____ 地方：パリの東南。6つの都市が交替で定期市を開催。

◎ドイツの諸都市は皇帝直属の帝国都市として諸侯から自立。自治権を認められる。

• ⁶ _____ 同盟：北ドイツの都市同盟。100以上の都市が共通の軍事・外交・取引法。

盟主⁷ _____ ・エルベ河口の⁸ _____ ・ブレーメンなど。

4つの在外商館：ロンドン・ブリュージュ・ベルゲン・ノヴゴロド。

• ⁹ _____ ：アルプス北側。 ¹⁰ _____ の産出で、財閥¹¹ _____ 家が台頭。

¹² _____ 貿易：エジプトから香辛料・絹など高級品を輸入。

◎イタリアの諸都市は自治都市コムーネとして独立。周辺領域を支配する都市共和国となる。

• ¹³ _____ 同盟：北イタリアの都市同盟。皇帝軍を撃退。盟主は¹⁴ _____ 。

• ¹⁵ _____ 共和国：第4回十字軍。“東方への窓”。マルコ = ポーロの出身地。

• ¹⁶ _____ 共和国：ヴェネツィアと抗争を続け、敗北。コロンブスの出身地。

• ¹⁷ _____ 共和国：トスカナ地方の毛織物都市。金融で¹⁸ _____ 家が台頭。

☆都市の自治：皇帝・国王から特許状を獲得、封建領主 (諸侯・司教) の支配から独立。

⇨ 都市に逃れた農奴も1年後には自由身分に。

“¹⁹ _____ は自由にする”

◎大商人は組合 (商人ギルド) を結成し、都市参事会 (市議会) を独占。

⇨ 手工業組合 (²⁰ _____ ギルド) が対抗し、次第に参政権を獲得 (²¹ _____ 闘争)。

◎手工業者には²² _____ の3身分があり、親方だけがギルドに参加。

商業の復活と中世都市

1 三圃

2 十字軍

3 フランドル

4 ブリュージュ

5 シャンパーニュ

6 ハンザ

7 リューベック

8 ハンブルク

9 アウクスブルク

10 銀

11 フッガー

12 東方 (レヴァント)

13 ロンバルディア

14 ミラノ

15 ヴェネツィア

16 ジェノヴァ

17 フィレンツェ

18 メディチ

19 都市の空気

20 同職

21 ツunft

22 おやかた 親方・職人・徒弟

(× 従弟)

封建社会の解体

14~15世紀の危機：開墾の限界、百年戦争、¹ _____ 病(1348)の流行、農民逃亡で農村人口が激減、深刻な労働力不足に。

①領主は一時金で農奴解放に応じ、² _____ (賦役地) を廃止、農民に分与。

⇒ 独立自営農民 (英では³ _____) から、貨幣地代のみを徴収する純粹荘園。

②領主が農奴制の復活をはかる (封建反動) ⇒ 農民一揆を引き起こす。

仏⁴ _____ の乱(1358): 百年戦争中の臨時課税に反発。ギヨーム=カールが指導。

英⁵ _____ の乱(1381): 百年戦争中の人頭税に反発。タイラーが軍事指導者。

精神指導者⁶ _____ 「アダムが耕しイヴが紡いだ時、⁷ _____」

☆⁸ _____ : エルベ川以東の農奴制大農場。

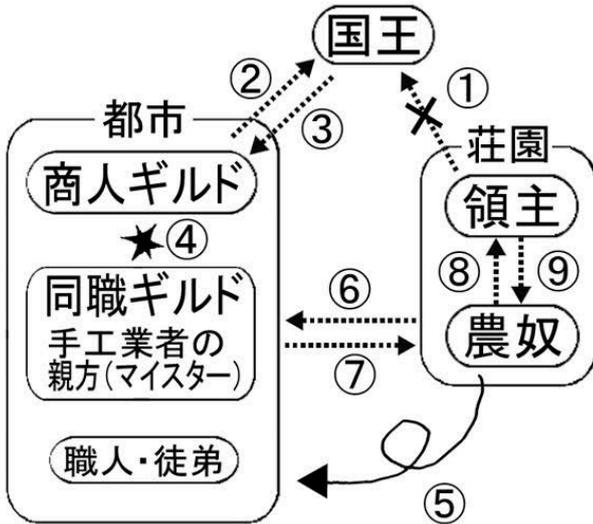
貨幣の流通が遅れた東欧では、
西欧へ輸出する穀物を栽培する
ため、領主が直営地を拡大する。



▲ ジャックリーの乱 (貴族を襲う農民たち)

- (解答) 1 黒死 2 賦役 3 ヨーマン 4 ジャックリー
5 ワット=タイラー 6 ジョン=ボール
7 誰が領主だったか 8 グーツヘルシャフト

中世都市と農奴解放



- ① 免税 (不輸不入権) ② 税
- ③ ¹ _____ を認める特許状
- ④ 参政権を要求 (² _____ 闘争)
- ⑤ 都市へ逃亡、1年と1日後に自由身分に (³ _____ は自由にする)
- ⑥ 余剰農産物 ⑦ 代金 (貨幣)
- ⑧ 生産物地代から ⁴ _____ 地代へ
- ⑨ ⁵ _____ の廃止 (農奴解放)

- ・**英** 独立自営農民 (⁶ _____) が出現。
- ・領主権の再強化 (封建反動) に対して反乱。
 - ・**仏**⁷ _____ の乱(1358-)
 - ・**英**⁸ _____ の乱(1381-)

- (解答) 1 自治 2 ツンフト 3 都市の空気
4 貨幣 5 賦役 (直営地) 6 ヨーマン
7 ジャックリー 8 ワット=タイラー



◀ 農民を率いるジョン=ボール 「アダムが耕しイヴが紡いだとき、誰が領主だったか？」と訴えた。 When Adam delved and Eve span, Who was then the gentleman?

中世のドイツ・イタリア

- 1 : 962 戴冠、初代神聖ローマ皇帝。ドイツ・イタリアを統一。
 - **ハインリヒ4世** : 叙任権闘争で教皇と対立。1077 カノッサの屈辱：教皇に屈服。
 - 2 : シュタウフェン朝。 3 政策、第3回十字軍で事故死。
 - イタリア：諸侯・都市が皇帝派（4）と教皇派（5）に分裂。
 - ドイツ：皇帝不在中、諸侯、都市が自立。約300の小国家（6）を形成。
 - 7 : シチリア王を兼ね、イスラーム文化に理解。無血の第5回十字軍。
- ☆シチリア王国：アラブ人支配 ノルマン人支配 フリードリヒ2世もアラブ人官僚を採用。
 1265- 仏諸侯アンジュー伯(ルイ9世の弟)が占領。アラブ人追放、島民には重税を課す。
 1282 8 : シチリアの大反乱。仏軍を撃退、アラゴン王家を招く。
- ☆ 9 時代(1254-)：シュタウフェン朝断絶後、有力諸侯が帝国の実権を握る。
- 10 : ルクセンブルク家。ベーメン王から皇帝に。プラハ大学を創設。
- 1356 11 を発布：皇帝選挙権を7人の大諸侯（12）に限る。
- **ジギスムント** : コンスタンツ公会議開催。ニコポリスの戦いでオスマン帝国に敗北。
- 1438- オーストリア大公の 13 家が皇位を独占⇨婚姻による自領拡大。
 1291 14 独立戦争：ウーリなど原初3州がハプスブルク家の支配に抵抗開始。
 ⇨ 15 の伝説⇨バーゼル会議(1499)で13州がスイス連邦として独立。
 ⇨三十年戦争後のウェストファリア条約(1648)で国際的に承認。



ハインリヒ4世



フリードリヒ1世



フリードリヒ2世

中世のドイツ・イタリア

- 1 オットー1世
- 2 フリードリヒ1世
- 3 イタリア
- 4 ギベリン
- 5 ゲルフ
- 6 領邦
- 7 フリードリヒ2世
- 8 シチリアの晩鐘 ばんしょう
- 9 大空位
- 10 カール4世
- 11 金印勅書
- 12 選帝侯
- 13 ハプスブルク
- 14 スイス
- 15 ヴィルヘルム=テル

教皇権の衰退

• ¹ _____ : 仏王。→ 聖職者課税問題で対立 ← ² _____

1302 ³ _____ 招集: 仏の身分制議会。聖職者・貴族・市民代表が国王を支持。

⇒ ⁴ _____ 事件(1303): 仏王が教皇を襲撃、憤死させる。教皇権失墜の始まり。

1309- ⁵ _____ ” : 仏王が教皇庁を南仏の ⁶ _____ へ移転。

1378- ⁷ _____ (教会大分裂) : 独帝・英王がローマに別の教皇を擁立。

☆中世の異端: カトリックの改革運動。教皇の首位権そのものを否定 (⇒ 宗教改革)

① ⁸ _____ 派(11c-) : ペルシアの ⁹ _____ 教の影響。極端な禁欲と独自の教会組織。

⇒ 南仏の一派が ¹⁰ _____ 派。仏王フィリップ2世、¹¹ _____ が討伐。

② ¹² _____ (14c) : 英のオクスフォード大学神学教授。英国教会の独立を主張。

⇒ 同派の説教僧 ¹³ _____ は、ワット=タイラーの乱に影響を与える。

③ ¹⁴ _____ (14c) : ベーメンのプラハ大学神学教授。ベーメン民族運動の指導者に。

1414-18 ¹⁵ _____ 公会議 : 大シスマを統一。ウィクリフとフスを異端とする。

⇒ フスを火刑 ⇒ ¹⁴ _____ 戦争(1419-36) : ベーメンの大反乱。皇帝軍を撃退。

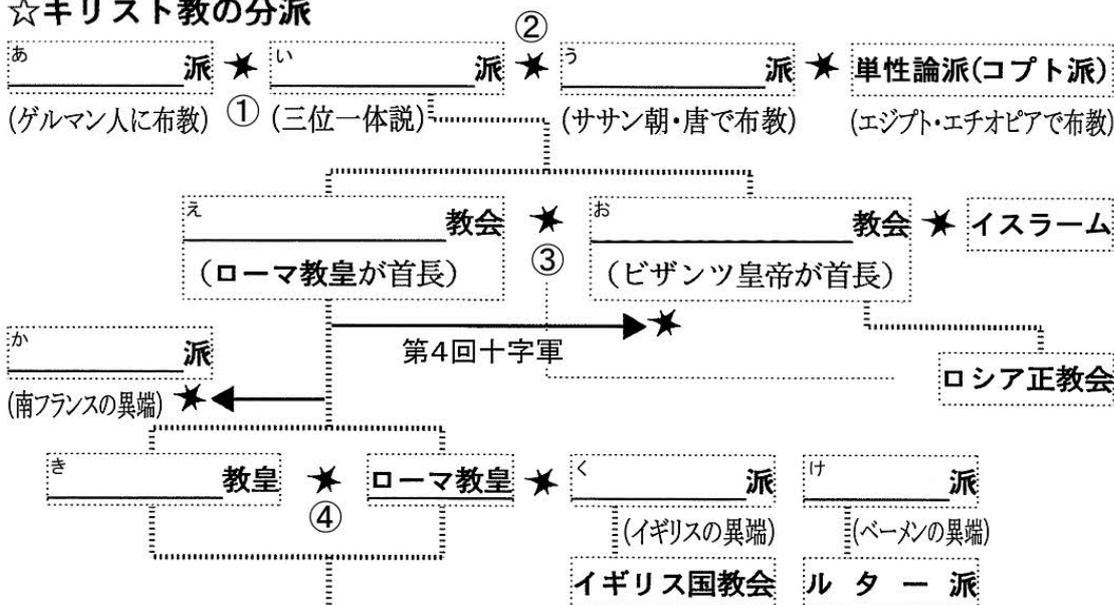
☆ ¹⁶ _____ 修道会(13c): 教会内部の改革運動。教皇権は認めるが、教会財産を否定。

• 伊の ¹⁷ _____ 修道会 : “アッシジの聖者”。モンゴル帝国へ宣教師を派遣。

• 南仏の ¹⁸ _____ 修道会 : 南仏でカタリ派撲滅の宗教裁判(異端審問)を行う。

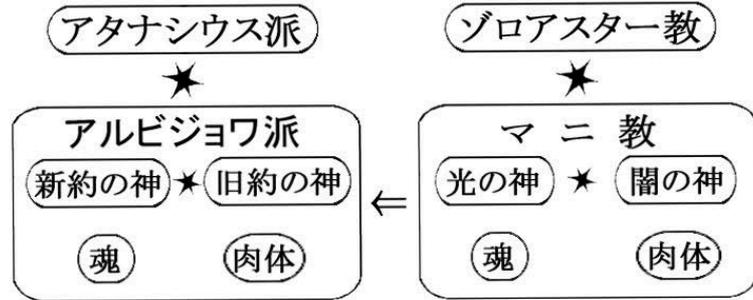
(解答) 1 フィリップ4世 2 ボニファティウス8世 3 三部会 4 アナーニ 5 教皇のバビロン捕囚
6 アヴィニョン 7 大シスマ 8 カタリ 9 マニ 10 アルビジョワ 11 ルイ9世 12 ウィクリフ
13 ジョンボール 14 フス 15 コンスタンツ 16 托鉢 17 フランチェスコ 18 ドミニコ

☆キリスト教の分派



(解答) あ アリウス い アタナシウス う ネストリウス え ローマ=カトリック お ギリシア正
か アルビジョワ き アヴィニョン く ウィクリフ け フス
① ニケーア公会議 ② エフェソス公会議 ③ 東西教会の分裂 ④ 大シスマ

中世の異端



ウィクリフ

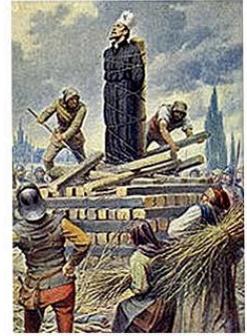
- ・オックスフォード大教授。
- ・教皇権を否定。
- ・『新約聖書』を英語訳。
- ・ランカスター公に保護される。

フス

- ・ベーメンのプラハ大教授。
- ・教皇権を否定。
- ・『新約聖書』をチェコ語訳。
- ・皇帝ジギスムントに召喚され、コンスタンツ公会議で火刑に。



▲ アルビジョワ派の城塞



▲ フスの火刑

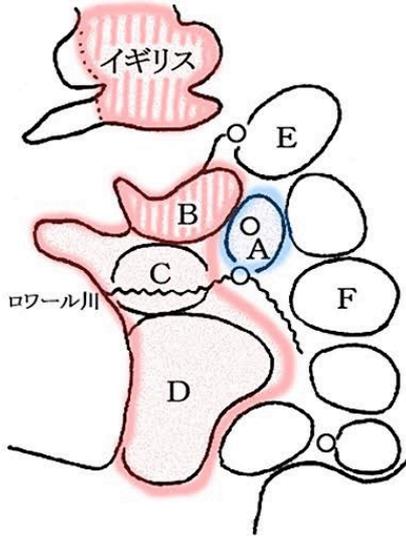
修道会

Ordo オルド… 請願をたて、共同生活を営む聖職者の組織。

① _____会	6世紀イタリア。ローマ近郊の モンテ=カシノ山 に創建。「 祈り、働け 」の会則はすべての修道会運動に影響。⇒寄進により富裕化、世俗化が進む。	 ベネディクトゥス
② _____会	10世紀東仏。教会刷新運動の中心。 グレゴリウス改革 、 叙任権闘争 に影響。	
③ _____会	11世紀東仏。粗衣粗食、 大開墾運動 の中心となる。⇒第2回十字軍、 テンプル騎士団 の結成に影響。	
托鉢修道会	教会財産を否定 し、信者からの寄進で生活する。	 フランチェスコ
④ _____会	13世紀イタリア。 アッシジの聖者 。托鉢修道会の最初。 カルピニ 、 ルブルック 、 モンテ=コルヴィノ はモンゴルへ。新大陸(カリフォルニア)、日本でも布教。	
⑤ _____会	13世紀南仏。 アルビジョワ派の改宗 、 異端審問 に熱心。 トマス=アキナス は『神学大全』でカトリック神学を完成。	
⑥ _____会	16世紀スペイン。 イグラティウス=ロヨラ が宗教改革に対抗。 ザビエル は日本で、 マテオ=リッチ は明で布教。	

(解答)① ベネディクト ② クリュニー ③ シトー ④ フランチェスコ ⑤ ドミニコ ⑥ イエズス

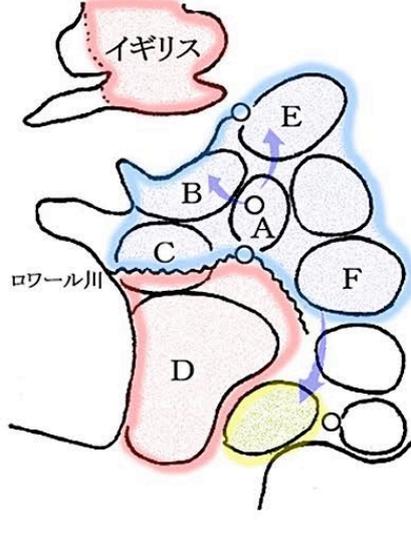
①プランタジネット朝の成立



- カペー朝
- ノルマン朝
- プランタジネット朝

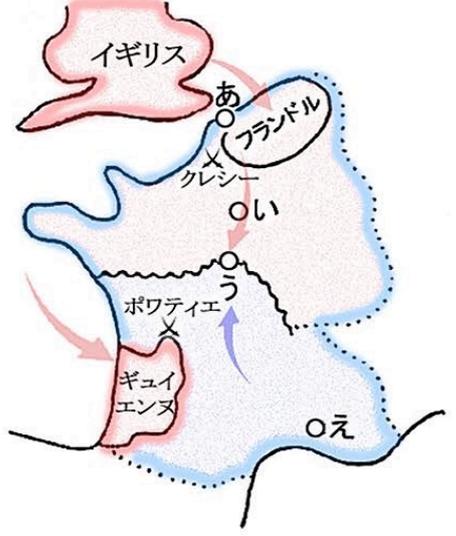
A パリ伯 B ノルマンディー公
C アンジュー伯 D アキテーヌ公
E フランドル伯 F ブルゴーニュ公

②カペー朝の反撃



- カペー朝 (フィリップ2世)
- プランタジネット朝 (ジョン)
- アルビジョワ派

③百年戦争(1339~1453)

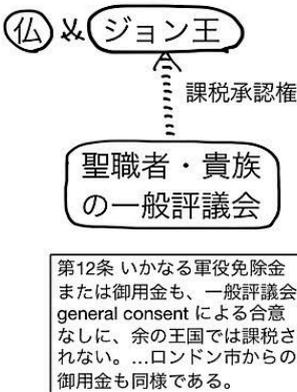


- 英軍占領地
- ヴァロワ朝
- ジャンヌ=ダルク

あ カレー い パリ
う オルレアン え アヴィニオン

イギリス議会の成立

① マグナ=カルタ(1215)



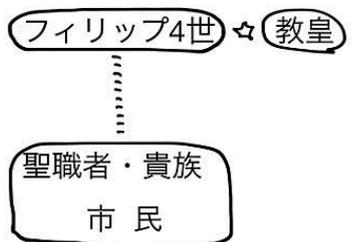
② シモンの議会(1265)



③ 模範議会(1295)



フランス三部会(1302)



中世の英仏関係

- 1 ノルマン
- 2 ウィリアム1世
- 3 プランタジネット
- 4 ヘンリ2世
- 5 リチャード1世
- 6 ジョン
- 7 マグナ=カルタ
- 8 ヘンリ3世

- 9 シモン=ド=モンフォール
- 10 エドワード1世
- 11 模範議会
- 12 カペー
- 13 ユーグ=カペー
- 14 フィリップ2世
- 15 ルイ9世
- 16 アルビジョワ

- 17 フィリップ4世
- 18 三部会
- 19 エドワード3世
- 20 ヴァロワ
- 21 百年
- 22 フランドル
- 23 クレシー
- 24 オルレアン

- 25 カレー
- 26 シャルル7世
- 27 バラ
- 28 ランカスター
- 29 ヨーク
- 30 テューダー
- 31 火砲(大砲)

中世の英仏関係

<p>1066- 英・¹ 朝</p> <ul style="list-style-type: none"> • 2 : 1066 英国征服。 ⇒ 検地を実施、土地台帳(ドゥームズデーブック) <p>1154- ³ 朝</p> <ul style="list-style-type: none"> • 4 : 父はアンジュー伯、母はノルマン公女。 • 5 : 獅子心王。第3回十字軍。 • 6 : 失地王。仏王に敗北。 <p>1209 教皇インノケンティウス3世に破門される。</p> <p>1215 ⁷ (大憲章) に署名。 : 貴族会議の課税承認権を認める。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 8 : 大憲章を無視。 ⇒ 貴族⁹ の反乱。 <p>1265 シモンの議会 (英国議会の起源) 。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 10 : ウェールズ併合。 <p>1295 ¹¹ を招集。 ⇒ 以後、議会は定期的に招集される。</p>	<p>西フランク・カロリング朝</p> <p style="text-align: center;">(ノルマンディー公)</p> <p>987- 仏・¹² 朝</p> <ul style="list-style-type: none"> • 13 : パリ伯。 ノルマン人を撃退、フランス王に。 • 14 : 尊厳王。 ロワール川以北の英領を奪う。 • 15 : 聖王。 南仏の異端¹⁶ 派を平定。 第6回・第7回十字軍を率いる。 モンゴル帝国にルブルックを派遣。 • 17 : フランス統一。 ⇒ 教皇ボニファティウス8世と対立。 <p>1302 ¹⁸ 招集 : 身分制議会。</p> <p>1303 アナーニ事件 ⇒ 09- 教皇の捕囚。 ⇒ テンプル騎士団を解散、財産没収。</p>
<p>☆身分制議会 : 諸侯会議に市民代表が加わったもの。英の模範議会、仏の三部会。 独の帝国議会、スペインの国会。王権と都市との結び付きを示す。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> • 19 : 母が仏王フィリップ4世の娘。 ⇒ カペー朝断絶で仏王位継承権を主張。 <p>1339- ²¹ 戦争 : ²² 地方・ギエンヌ地方の争奪、仏王位継承問題。</p> <p>1346 ²³ の戦い : 英エドワード3世率いる長弓隊(農民軍)が仏騎士軍を破る。</p> <p>1356 ポワティエの戦い : 英エドワード黒太子が仏王を捕える ⇒ ジャックリーの乱。 ⇒ この間、黒死病が大流行 ⇒ パリ陥落。英軍が北仏(ロワール川以北)を占領。 ⇒ 仏のジャンヌ=ダルクが²⁴ 奪回 ⇒ 1453 英軍、²⁵ へ撤退。</p> <p>1455-85 ²⁷ 戦争 : 英王位継承戦争。 ²⁸ 家が継承、百年戦争で敗北。 ⇒ ²⁹ 家が反乱、両家の抗争が続く。 ⇒ ³⁰ 家のヘンリ7世が勝利。</p>	<p>1328- ²⁰ 朝</p> <p style="text-align: center;">(フィリップ6世) : フィリップ4世の甥。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 26 : パリを奪回。 ⇒ 大商人ジャック=クールを財務官に。 • シャルル8世 : 仏絶対主義の基礎。 <p>1494- イタリア出兵 : ナポリへ遠征。</p>

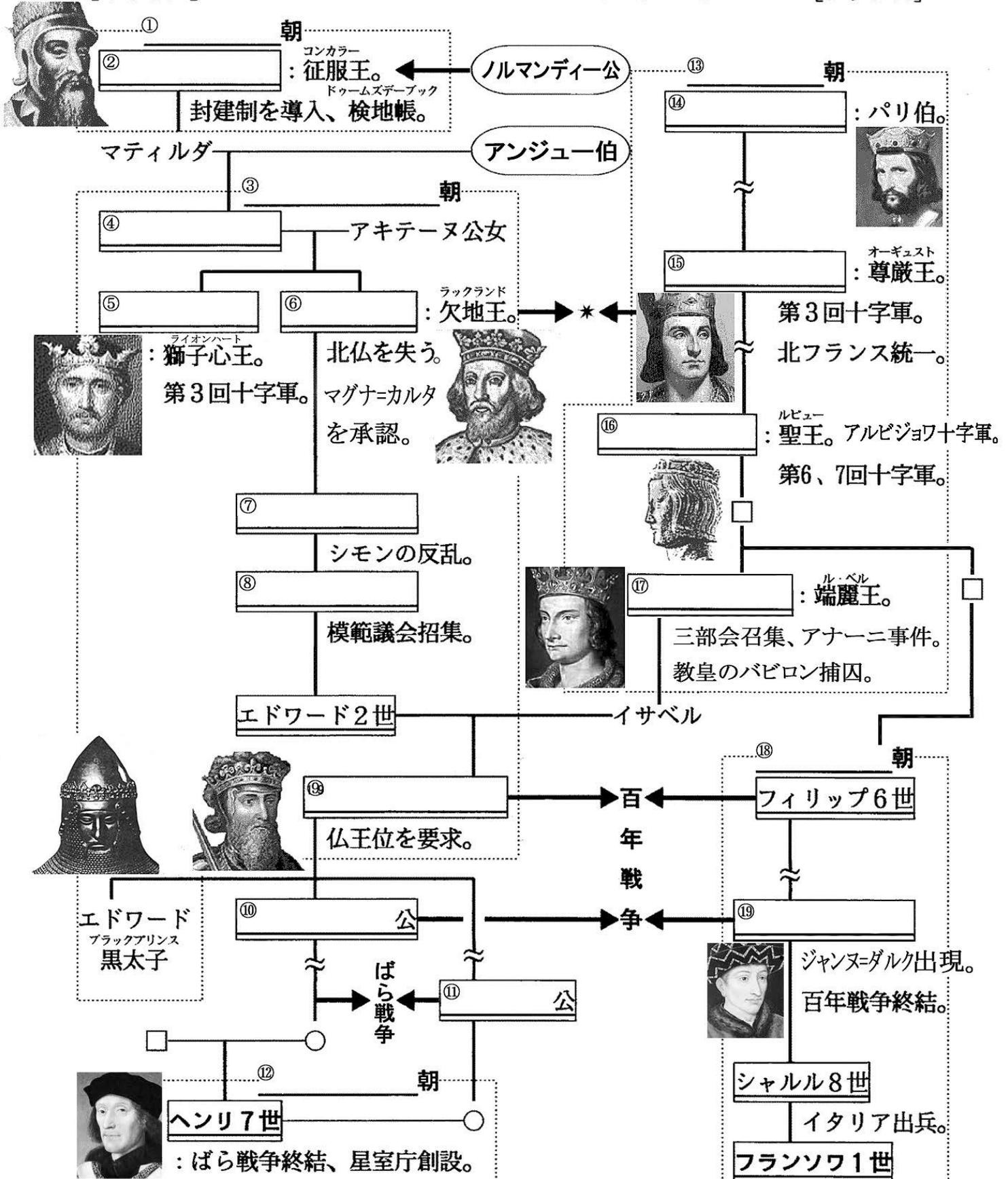
☆戦術の変化 : 百年戦争中、英軍が長弓・³¹ を使用 (⇒ モンゴル ⇒ 宋王朝) 貴族の重装騎兵(騎士)戦法から独立自営農民の集団歩兵戦法へ。

□:男子 ○:女子

中世の英仏関係系図

[イギリス]

[フランス]



- ①ノルマン ②ウィリアム1世 ③プランタジネット ④ヘンリ2世 ⑤リチャード1世 ⑥ジョン ⑦ヘンリ3世
- ⑧エドワード1世 ⑨エドワード3世 ⑩ランカスター ⑪ヨーク ⑫テューダー ⑬カペー ⑭ユージュ=カペー
- ⑮フィリップ2世 ⑯ルイ9世 ⑰フィリップ4世 ⑱ヴァロワ ⑲シャルル7世

(デンマーク) 中世の北欧 (スウェーデン)

- 1 : 1016 英王に即位。
英・デンマーク・ノルウェー統一、北海帝国。

12c-ハンザ同盟と抗争、敗北(1370)。

- 2 : 女王(1387-)
ノルウェー王と結婚、同君連合。



1397³ 同盟結成

⇒ デンマーク連合王国(-1523)

16c ルター派に改宗。

- クリスティアン4世

900頃 カトリック改宗。

13c フィンランドを併合。

14c 王と貴族が内紛。

⇒ 貴族はデンマークに支援を求める。

⇒ ³ 同盟に加盟。

1520- 対デンマーク独立戦争。

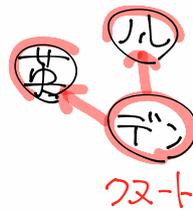
- グスタフ1世 : 独立(1523)。ルター派改宗。

- (1611-) 全盛期。

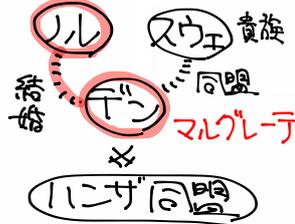
1618- 三十年戦争に新教徒側で参戦。



11c 北海帝国



14c カルマル同盟



(解答)

- 1 クヌート
- 2 マルグレーテ
- 3 カルマル
- 4 グスタフ=アドルフ

レコンキスタ(国土回復運動)



① のイベリア遠征(778-)

• スペイン辺境領を設置。

• 叙事詩『 』の舞台。

② カステリヤが 攻略(1085)。

• アラビア語文献を 語に翻訳。

⇒ 十二世紀ルネサンスに影響。

③ 人が侵攻 (1086-)

• ムラービト朝、ムワッヒド朝。

• コルドバの大学者 。

⇒ ムワッヒド朝撤退、小国分立(13c初)。

④ C・A同君連合、 王国。

{ • カステリヤ女王 ⁸

• アラゴン王 ⁹

⇒ ¹⁰ 攻略(1492)。 ¹¹ 朝滅亡。



A. アラゴン王国 C. カステリヤ王国 P. ポルトガル王国

- (解答) 1 カール大帝 2 ローランの歌 3 トレド 4 ラテン 5 ベルベル 6 イブン=ルシュド
7 スペイン 8 イサベル 9 フェルナンド5世 10 グラナダ 11 ナスル

ロシア帝国の成立

東ローマ帝国

正教

9c- 1 _____ 公国：ノルマン人が建国。

2 _____ : ビザンツ皇女と結婚、正教改宗。

1240 モンゴルの侵攻：キエフ公国滅亡。

⇒以後 240年間、3 _____ =ハン国の支配。

“タタールのくびき”

1328- 4 _____ 大公国（リューリク朝）

5 _____ : 東ローマの皇女と結婚(1472)。

⇒双頭の鷲の紋章、皇帝（6 _____）の称号。

1480 ハンへの貢納拒否⇒ウグラ川の戦いで独立。

7 _____ : (1533-) “雷帝”。貴族を打倒。

1547- 全ロシアの皇帝と称す。農奴の移動を禁止。

1582 イェルマークの遠征：シベリア征服はじまる。

1453 滅亡

帝位



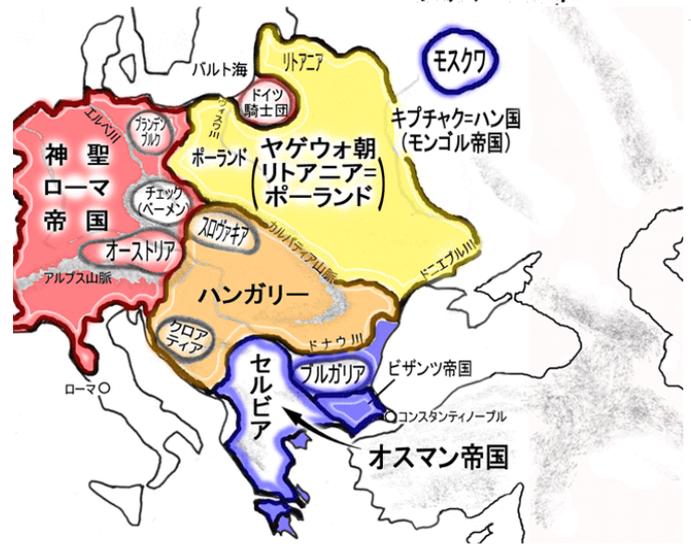
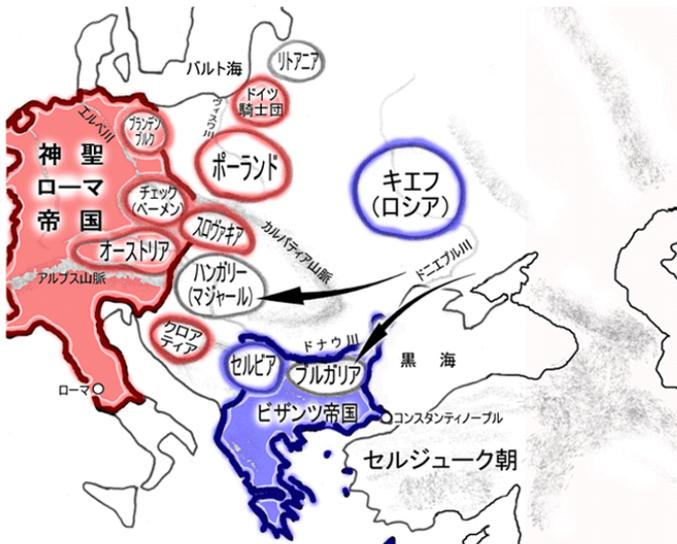
▲「双頭の鷲」の紋章

Давлат тил кунлар ва ҳларни эслай

▲ キリル文字



イヴァン4世



中世の東欧

- 1 マジャール
- 2 オットー1世
- 3 モラヴィア
- 4 キュリロス
- 5 神聖ローマ
- 6 カール4世
- 7 フス

8 コンスタンツ

- 9 ワールシュタット
- 10 カジミエシュ(3世)
- 11 ヤゲウオ
- 12 リトアニア
- 13 タンネンベルク
- 14 ブルガリア
- 15 ブルガール

16 セルビア

- 17 コソヴォ
- 18 レオン3世
- 19 アレクシオス1世
- 20 プロノイア
- 21 4

ロシア帝国の成立

- 1 キエフ
- 2 ウラディミル1世
- 3 キプチャク
- 4 モスクワ
- 5 イヴァン3世
- 6 ツァーリ
- 7 イヴァン4世

中世の東欧

☆¹ _____ 人：アジア系（ウラル系）遊牧民。9c- 黒海北岸からヨーロッパ侵攻。
955 レヒフェルトの戦い：ドイツ王² _____ に敗北⇨パンノニア平原に定住。

- **イシュトヴァーン1世**：カトリック改宗。1000 教皇から王冠授与。初代ハンガリー王に。
⇨スロヴァキア・クロアチア・トランシルヴァニア（ルーマニア北部）を征服。

☆スラヴ民族：東欧の先住民。印欧系。マジャール人に追われ、各地に移住、建国。
7c- ³ _____ 王国：最古のスラヴ人国家。 ⁴ _____ 兄弟が正教を布教。

10c- **ベーメン(チェック)王国**

- **ヴァーツラフ1世**：10c カトリック改宗。
⇨ ⁵ _____ 帝国の一諸侯に。
- 11c-ドイツ人の東方植民。ドイツ化。
⇨ズデーテン地方の鉱山開発。
- **カレル1世**：皇帝⁶ _____。
- 1356 金印勅書発布⇨七人の選帝侯。
- 1415 プラハ大学教授⁷ _____、
⁸ _____ 公会議で火刑に。
⇨⁷ _____ 戦争：民族独立運動に。
- 16c-**喫ハプスブルク家**が継承。

10c-**ポーランド王国(ピアスト朝)**

- マジャール人に対抗、カトリック改宗。
- 1241 ⁹ _____ の戦い：モンゴルに大敗。
- 11c-東方植民。13c-ドイツ騎士団の侵略。
- ¹⁰ _____ 大王(14c)：騎士団に対抗。
- 1386- ¹¹ _____ 朝(首都：クラクフ)
- **ヤドヴィガ女王**：¹² _____ 大公と結婚。
(¹² _____ ・ポーランド同君連合)
- 1410 ¹³ _____ の戦い：騎士団を撃破。
⇨黒海北岸まで征服。ポーランド最大領土。
- 1572- **選挙王制**：大貴族と国王が抗争。

☆バルカン半島の国々

⁷c- ¹⁴ _____ 王国

：アジア系¹⁵ _____ 人。
スラヴと混血。正教改宗。

11c 東ローマに併合。 ←

12c 十字軍侵入を機に独立。

11c ¹⁶ _____ 王国

：南スラヴ族。正教に改宗。

- **ステファン=ドゥシヤン**：全盛期。

1330 ブルガリアを破り、
バルカン半島を制圧。

1389 ¹⁷ _____ の戦い ←
：オスマンに滅ぼされる。

東ローマ(ビザンツ)帝国

- **ヘラクレイオス1世**：^{テマ}軍管区制、屯田兵制。
- ¹⁸ _____ ：聖像禁止令(726)
- **バシレイオス2世**：11c ブルガリアを征服。
- 1054 東西教会の相互破門。
- 1071 **マンジケルトの戦い**：セルジューク朝に敗北。
- ¹⁹ _____ ：教皇に十字軍を要請。
- ☆²⁰ _____ 制：貴族に国地分与、軍役。
- 1204 第²¹ _____ 回十字軍、コンスタンティノープル占領。
- 14c- オスマン帝国が侵攻。
- 1362 アドリアノープル陥落。
- 1453 **コンスタンティノープル陥落**。……^{帝位}

(ロシア)

キエフ公国

正教 →

.....

モスクワ大公国

帝位 →